

日本大学三島高等学校 同窓会会報

第 33 号

平成16年3月1日
静岡県三島市文教町2
日大三島高校同窓会 発行



見 猿 聞か猿 言わ猿

会長 高田 菊平
第1期生・ニューデルタ工業(株)
社長(三島市梅名)

会員の皆様におかれましては、お元気にご活躍のこと
と思います。日頃から同窓会活動に対するご理解とご支
援を賜わりまして、厚く御礼申し上げます。

昨年、母校には新しく中学校が開設され55名の新入生
が入学しました。母校の歴史の中に、また新しいページ
が加わった記念すべき年でありました。その生徒達に
会う機会が与えられましたとき、その初々しさはもちろ
んですが、彼らのほとんどが、自らの将来への夢と目標
を明確にもっていることに、その頃の年代の自分と比較
してふりかえてみて、大変感心してしまいました。これ
らの生徒をベースとして必ず、たしかな中・高一貫教
育の成果をあげることができるものと確信しました。

また、昨年は11月28日号の週間朝日に日本の名門高校
ベスト100(私立中・高校編)に、母校の紹介の記事が
掲載されました。同窓生の有志の方々にご協力をいた
だきましたが、これによって全国に活躍しています同窓生
の皆様方に、母校の現状を知っていただく良い機会にな
りましたことに感謝したいと思います。そしてこの記事
を読んだ同窓生が、母校に想いを募らせて地域の同窓生
との絆を広げていただけたらありがたいと思います。

今、同窓会会員の総数は今年第44期卒業生を加えて四
万六千名を越えるところとなりました。全国のどこにも、

きっとあなたのそばにも同窓生を見つけることができる
でしょう。これだけ多くの同窓生が活躍しているのです。
ひとりひとりのそのつながりを広げて、大きな絆にして
ほしいと思います。

相変わらず、景気はしっかりしたものになりません。少
しずつ回復していると云われていますが、まだまだ実感
としてくるものがありません。今年は「申」年です。古
来より「さる」は人間とのかかわりが深く、数多くの神
話とか、昔話に登場してきます。日光の東照宮にありま
す三猿(さんえん)の「見猿・聞か猿・言わ猿」は有名
であります。他人の欠点・あやまち、あるいは自分の都
合の悪いものなどは、見ない、聞かない、言わない、と
いうことを表わすのだそうですが、“触らぬ神にたたり
なし”的な面も見えるような気がします。私がお社を
経営している立場だからそう感じるのかもしれませんが、
あまり好きではありません。会社において、目標をかか
げ、それに向って努力していく挑戦していく集団である
とき、この三猿の思想は大いにネックになると思ってい
ます。改善、改革を進めるうえでは、お互いのベクトル
が合っていないと、なかなか成功しません。良いことは
良い、悪いことは悪いと、はっきりとしてその悪い点を
改善、改革していくのですから、それが見えていても、
又わかっていても行動にうつさなくては、何にもなりま
せん。

猿は「機敏である」・「機転がきく」といったイメージ
がありますように、今年ももっといろいろなことに、ス
ピードをもって、機敏に対応していかなくてはならない
と思います。お互いがんばりましょう。

最後になりましたが、会員の皆様方のご健勝とご発展
を祈念いたしますと共に、同窓会活動への変わらぬご支
援を重ねてお願いいたします。

平成16年1月20日



向日葵

平成15年度桜陵祭





高揚する 未来への絆

校長 北島 肇

同窓会の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。平素から、母校の教育振興と在校生の激励のために、有益なご助言やご後援を賜りまして、誠に有り難く心より感謝申し上げます。

さて、第44期生803名の皆さん、いよいよ巣立つ日が近づきました。この三年間に、皆さんは心身ともに目覚ましい成長を遂げ、晴れの日を迎えようとしています。

卒業に当たり、皆さんが本校在学中に体験した事柄を想い起こしてほしいと思います。高校生活の三年間は、勉強以外にも大きな意義を持っていることは言うまでもありません。何よりも、高校時代の友は生涯の友となるということであり、学級や生徒会、部活動の仲間として共に喜び悩んだという体験は、青春の日々の思い出としてなにもにも代えがたいものであります。本校の同窓会の席で、同窓の方々から高校時代の思い出をお聞きするとき、長い

人生の中で高校時代の三年間が持つ重みはきわめて大きいものだと実感しますが、皆さんもいつの日か高校時代を振り返るとき、自分の青春と学校生活のさまざまな場面とが、分かちがたく結びついていることに気がつくことでしょう。

本校の同窓会の会員は既に、45,308名を数え、社会の各分野において活躍しています。皆さんも卒業と同時に同窓会の一員になります。同窓会に出席しますと「本当に出席してよかった」と必ず思うものがあります。先輩、同級生、後輩が集まる喜びの中で、しばし、現在の境遇を忘れて、それぞれの学生時代の思い出を語り合い、励まし合いができること等、ことばでは言い表せぬ喜びと楽しみがあるからだと思います。また、同窓生、同級生の心は、何のわだかまりもなく、純粋に通じ合えるからでしょう。

同窓会の盛会は、教職員にとって、大きな励まし、勇気づけになります。そして、会員相互の親睦を図りながら、後輩が学ぶ母校の支援体制づくりにご尽力くださることは、教職員一同の心からの願いであります。

同窓の皆様が、母校日本大学三島高等学校の卒業生であることを心から誇りに思っただけのような学校づくりに、教職員一同力を合わせ努力を重ねてまいる所存です。皆様の絶大なご支援とご協力をお願いいたします。

5年後の平成20年には創立50周年という節目を迎えます。同窓生の皆様の絆が、未来に向かって、ますます高く、大きく、強く、ご発展なさることを心よりお祈り申し上げます。

平成15年4月1日付をもって北島 肇教頭が
第9代校長に就任されました。

平成15年度 事業報告

1 総会 平成15年10月25日(土) 三島プラザホテル

- (1) 高田菊平 会長挨拶
- (2) 国際関係学部長 佐藤三武朗先生挨拶
- (3) 学校長 北島肇先生挨拶
- (4) 議 事(事業報告・決算報告・女子部会発足・事業計画・予算案・その他)
- (5) 懇親会(国際関係学部事務局長 鈴木弘文先生挨拶他)

2 幹事会

- (1) 5月28日 割烹「登喜和」
名簿発行・女子部会・中学開校記念の件
- (2) 7月2日 母校 小会議室
女子部会・各支部会・中学開校記念の件
- (3) 7月29日 母校 小会議室
女子部会・支部活性化推進委員会の件
- (3) 9月19日 母校 小会議室
総会・女子部会・名簿改定・中学開校記念の件

- (3) 2月6日 割烹「高田屋」
入会式・会報発行の件

3 事業

- (1) 2月21日 第44期生入会式 母校8号館
表彰(奨学金) } 4ページに紹介
(奨励金)
- 記念講演
東海大学スポーツ医科学研究所教授 田中誠一先生
- (2) 3月1日 同窓会会報 第33号発行
- (3) 7月 同窓生への会報発送 45,000通
- (4) 11月28日 「日本の名門高校ベスト100」
週刊朝日掲載

4 支部

- (1) 三島支部 平成15年9月5日 三島グランドホテル
- (2) 田方支部 平成15年8月9日 源氏
- (3) 静岡支部 平成15年8月22日 やすい軒
平成14年10月5日 他6回
- (4) 沼津支部 平成15年12月5日 沼津ホテル

5 その他

- 同期会(昭和41年度卒業 7期生)三島グランドホテル
女子部25期生・三島プラザホテル



新入会員を
迎える

活躍の場を求め
羽ばたく
国府方 一吉
(8期)

3年生の皆さん、卒業おめでとう。第44期同窓生である君達を心より歓迎いたします。これから大人社会の仲間に入ろうという君達に私が高校生の時父親に言われたことを述べたいと思います。家業の手伝いとして、学校が終わると豆腐を売り歩いていました。そんな私に父は、「油揚げ1枚でも買ってもらうと嬉しいだろ。農家のおばさんが野菜を売りに来たら、芋1つでもいいから買ってやれ。又、自分で買いたい物があつたら、その分よけいに働け。」とよく言っていました。自分がして欲しいことを他人にもしてやる。いかにも商人らしい考え方を私は教え込まれました。でも、こんな考え方は大人社会でも必要ではないでしょうか。私も銭として「情けは人のためならず。」「働かざるもの食うべからず。」の格言を君達に送ります。どうか君達も活躍の場を求め、羽ばたいてください。

各支部長一覽

支部名	三島	田方	沼津	御殿場	富士	富士宮	静岡	熱海	小田原
氏名	藤幡俊量	内田敏明	今井信之	高杉忠	西村雅幸	秋山一雅	永井敏文	谷口俊司	川口功一
住所	三島市東本町二一四一三三	田方郡大仁町吉田八三九一四	沼津市市場町一〇一一	駿東郡小山町古城四四	富士市横割六一二二五	富士宮市浅間町四一五	静岡市東千代田一四二一〇	熱海市上多賀九二〇一一	小田原市東町四一五二一〇
TEL	(〇五五) 九七二一三三九五	(〇五五八) 七六一二三三七	(〇五五) 九三一七八七八	(〇五五〇) 七六一三四八四	(〇五四五) 六一一五一七五	(〇五四四) 二六一三八四七	(〇五四) 二六五五三三五	(〇五五七) 六八一四〇二二	(〇四六五) 三四一三五三七



入会の言葉

未 来
中澤 佑太
(第44期生代表)

私たち第44期卒業生一同が無事卒業し、日大三島高校同窓会に入会させて頂ける事となりました。長い歴史を持ったこの会に入れることを大変うれしく思います。

私達は、この3年間に多くの事を学びました。期待と緊張を胸に日大三島に入学して、桜陵祭、修学旅行、部活動、クラス活動など様々な行事を通してクラスの友達はもちろん、学年をこえて仲間を作ることができました。

同窓会は、友人との再会の機会であるとともに、同じ学校の下で学んだ先輩方との交流の場でもあります。このような入会の機会を頂けることを幸せに思い、一生のものとして大切にしたいと思います。

それぞれの道を歩んでいく中でもどうかご指導のほどよろしくお願い致します。

クラス幹事

- 1組……井上 恭 輔
- 2組……杉本 和 也
- 3組……久保田 和 孝
- 4組……成川 哲 平
- 5組……渡辺 雄 登
- 6組……松金 成 行
- 7組……勝海 美 穂
- 8組……石井 宏 樹
- 9組……門松 真 行
- 10組……須藤 仁 司
- 11組……稲岡 克 哉
- 12組……岩崎 大
- 13組……渡辺 亮 太
- 14組……樋口 裕 一
- 15組……金井 泰 浩
- 16組……唐牛 秀 輔
- 17組……影山 藍 子
- 18組……望月 崇 久
- 19組……古木 悠 也
- 20組……森川 昌 哉
- 21組……平井 政 利
- 22組……原 大 地
- 23組……勝浦 亮

以上の人たちが平成15年度卒業生の各クラス幹事に選ばれました。クラス会などを開くときには、これらの幹事を中心として協力しておこなってください。

同窓会総会

平成15年10月25日(土) 於：三島プラザホテル



佐藤三武朗先生



高田菊平会長

恒例の総会が、平成15年10月25日に開催された。来賓に、国際関係学部長、佐藤三武朗先生、事務局長、鈴木弘文先生をお迎えしての会となった。今年は特に女子部会をつくり活性化させようということで、女性の代表の方も多く出席され、華やかな会となった。また、懇親会では、第2期生が還暦を迎えたことを祝って赤いトレーナーが贈られた。今後のさらなるご活躍を同窓生一同お祈りしたいと思います。

同窓会入会式

平成16年2月21日(土) 於：母校8号館講堂



久保田副会長挨拶



出席者幹事



表彰

第44期生入会式

記念講演会



講演会風景

講師

東海大学
スポーツ医学研究所教授
田中 誠一先生

恒例となっている同窓会入会式が母校8号館においておこなわれた。この式において、今年と同窓会は表彰規定（在籍期間中、学業成績・人物・自治活動・健康に優れ有為な人物として学校長より推薦された者）にもとづき、下司佳保里さんと小倉礼

那君に奨学金として5万円ずつを贈った。お二人の今後の活躍を期待します。なお今年は部活動関係における表彰はなかった。

毎年、入会を記念して講演会が開かれます。今回は、かつて母校陸上部監督として全国優勝（昭和38年）を果たした田中誠一先生を迎えての会となりました。新入会員それぞれの心の糧となるよう期待します。

根本庸光先生 定年によって 退職される



日大三島高校と 共に歩んで

根本 庸光

学生の頃から三島・沼津には何度か訪れたことがありました。当時の日大三島高校の印象は、兵舎の名残である木造校舎が残っており、また、グラウンドが広く閑散とし、なんともいえない趣がありました。まさか自分が一生の仕事として三島に赴任するとは思ってもいませんでしたが、縁があって昭和38年に赴任して以来早いもので、平成15年12月25日をもって無事定年を迎えることができました。その間40年、さまざまな感慨が脳裏をよぎりました。

夏休み小学校に宿泊しながら霞ヶ浦湖畔での古墳の発掘・台場の赤王横穴古墳・山木遺跡・柏谷百穴・山中城・その他、郷土研究部の生徒を引率して調査に参加したことが、懐かしく思い出されます。

また、鮮烈な印象として現在まで残っているのは、最初に担任した3年4組の生徒諸君です。さまざまなクラスとの出会いがあったが、初めての3年生ということに加え、1年のころから指導した郷土研究部の生徒が多く集まっていたので、和やかでまとまりのある雰囲気をもし出していました。現在でも名前と顔を思い出すことができます。その4組の代表から5年前、還暦の祝いをするからという連絡があり、盛大にお祝いしていただいた。長い教師生活の中で卒業生からお祝いしていただいたこと、教師冥利に尽きるとはこのことと感激いたしました。

また、体操部の生徒・OB諸君が定年のお祝いをしてくれたこと、今学校を去るにあたって、このような同窓生が各地で立派に活躍していることは、日大三島高校にとっても心強い限りです。すでに日大三島高校は地域で一定の評価を得ておりますが、昨年中学校を併設し、新しい段階へ歩みを始めました。今年度も卒業生を新たな会員として迎える同窓会の組織が、本校を支える存在として力強く発展していくことを心より祈念いたしております。

女子部第25期生 同期会開く



1月9日、女子部昭和59年度卒業生の第一回同窓会、仕事に育児に家事に皆忙しい中6名の恩師を含め百名近い方が出席してくれました。準備期間三ヶ月と短かく、無事に開催することができたのは、クラス幹事の協力と見事なチームワークのおかげです。渡辺博夫先生のご祝辞、19年前と少しも変わらないマイクの持ち方、話し方…。一瞬ぴっと背筋が伸びたのは私だけではなかったはず。女子高生に戻ったような皆を見てみると、実現できて本当に良かったと実感しました。あっという間の3時間でしたが、皆のいい笑顔を見ることができてよかったのではないのでしょうか？愛すべきわが母校と同窓生の皆様のご健勝と更なる発展をお祈りしています。

三島支部総会盛大に開催 支部長 藤幡 俊量

去る、平成15年9月5日（金）三島グランドホテルに於いて、恒例の三島支部総会が開催されました。例年は、越年の2月頃に行われていたのですが、今期からは、できるだけスタンダードな総会日程に戻すことを支部役員一同の意見のもと、今期は秋に行い、来期はぜひ春の実現を目途に支部活動を行っていきたいと思います。支部長挨拶の後、決算総会も無事に済み、待ちに待った懇親会に速やかに入り、高田菊平同窓会長と母校の北島校長先生の来賓祝辞の後、大きな声で乾杯。……後はしばし歓談、歓談。先輩後輩一緒になり、各テーブル、席関係なく盛大に盛り上がりました。後半は、やはり恒例になりました、景品付のアトラクションが若手幹事の運営のもとに展開され、参加者全員にもれなく景品をお持ち帰りいただく方式により、これまた一喜一憂。時間の過ぎるのもあっというまで閉会時間をオーバーしながら、また来期に皆で会うことを誓い合いました。



高等学校 新教頭に高桑豊先生

北島肇先生が第9代校長になられたのにもない、高桑豊先生（理科）が平成16年4月1日付をもって新教頭に就任されました。ご活躍を同窓生一同心よりお祈りいたします。



中学校 教頭に渡辺博夫先生

平成15年4月に開校した日本大学三島中学校の教頭として、渡辺博夫先生が就任されました。中学校の発展と先生のご活躍を同窓生一同心からお祈りいたします。頑張ってください。

おかげさまで10周年 静岡支部長 永井 敏文(6期)

日本大学三島高等学校、同窓会静岡支部が「静桜倶楽部」として再発足し、10周年を迎えることができました。歴代支部長、執行部の皆さん、そして会員の皆さん、また学校はじめ同窓会本部のご助力の賜と感謝申し上げます。この10年を迎えられたことを、素直に喜びたいと言うことで、昨年の11月に記念例会を開催いたしました。学校設立5年で、陸上部を全国一にされました、田中誠一先生（現 東海大学教授）に記念講演をお願いし、学校からは北島校長先生、渡辺先生、同窓会本部高田会長、また同窓会各支部の皆様にも駆けつけて頂き、盛大に祝って頂くことができました。私共の静桜倶楽部は、同窓会の中の異業種交流会との認識で、会員相互の親睦を深めて行くことを第一目的として、年に3~4回の会合を設けております。春には総会、夏にはビアガーデン例会、秋には講師例会やスポーツ例会など。また、会員が会員を集める方法で会員拡大をしています。テリトリーも富士川以西としていますので、ずっと行くと地球は丸いので、全世界と言うことになります。因みに、アメリカや中国在住の会員もいます。執行部は、全力投球で頑張っております。同窓生であれば、いつでも、どなたでも結構です。お出掛けください。



新たな気持ちで... 沼津支部長 今井 信之

沼津支部同窓会も長い休眠時代が終り、新たな気持ちで平成15年12月5日に新幹事を混じえて沼津ホテルにて24名の同窓会幹事会を開きました。会には渡辺博夫先生、本部の女性幹事、石橋さん西野さんにも加わっていただきました。同窓生の数も沼津在住とは限りませんが1万人を越える数だと聞いています。沼津の商業・工業・農業・漁業も新しい転換期にきています。同窓会の役割も重大な時期にきています。同窓生が各期の同窓生の知恵と自覚を持ち寄って時代の要求に合った個性豊かな人材を育てて行く繋がりを今後の目標として行動したいと思えます。まずは、多くの会員を集める事ではなく、今回同窓会で出来る事を話し合い平成16年の沼津支部同窓会総会を成功

させる事、幹事が一人一人が一人の会員を加入させる小さな運動より始めようと全員一致で決議しました。

支部会をひらく 田方支部長 内田 敏明

平成15年8月9日、田京の「源氏」で支部会をもちました。田方支部は函南から湯ヶ島まで、7つの町から成り、各地区からの代表の方々が集まりなごやかなひと時を過ごすことになっています。田方支部としても、同窓生としての絆を大切に、ほそくともながいつき合いを続けていきたいと願っています。そういう意味で、いつものメンバーがいつもの通りに集まるのですが、それがまた実に意義深い会合となって、時間の経つのも忘れるほどでした。



第2回 第7期同期会をひらく 代表 庄司 一祥

平成15年3月30日(土)に、24年ぶりに開催しました。校長を勤められた山内昭二先生も駆けつけていただき、全46名の参加でした。最初は顔と名前が一致せず戸惑う仲間もいましたが、やがて高校時代の顔となって話が弾みました。健康で次回も会えることを願っています。



お知らせ

壇上奈欧子先生（地歴公民）が平成15年12月31日付をもって退職されました。先生のこれからの人生のご多幸をお祈りいたします。